

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	大垣市	学校名	大垣市立星和中学校			
校長名	立川 健之	対象学年	全学年	人数	518名	
活動名	福祉フェスティバル		時間数	各約20時間	継続年数	20年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [] 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [福祉施設訪問] 6 その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	○本校は平成3年以来「共に生きる街 星和」を合言葉に、福祉学習を展開してきた。福祉施設訪問や「福祉フェスティバル」の持ち方については、毎年、見直しをしている。本年度は特に、6月に「福祉フェスティバルオープニングデイ」福祉講演会を開催し、生徒・保護者・地域に啓発した。					
<p>1 ねらい</p> <p>◎地域の福祉施設訪問や、障がい者を招いた学習会等を通して思いやりの意識や行動力などを、地域での活動や日常生活に反映していくことができるようにする。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>①総合的な学習の時間において、「共に生きる街・星和」を全校テーマとし、各学年で福祉についての学習を年間通して進める。</p> <p>1年生：福祉施設との交流や車いす体験、点字学習などを通じた福祉学習 2年生：働く人との関わりの中で「生き方」を考える学習 3年生：身近にできるボランティアを実践し、自己を見つめ、生き方を考える学習</p> <p>②生徒会を中心に福祉・ボランティア活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒集会を開催し、「福祉宣言」をもとに取組の意義を明確にする。 ・「グループセービング」を展開し、義援金や途上国のポリオワクチン提供等に貢献する。 ・「シャボン魂」（よいことみつけ）を展開し、よいことの意義や気持ちを大切にする。 <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉フェスティバル「オープニングデイ」「成果発表」を保護者や地域の方に公開 <p>〔第一部〕平成25年6月1日（土）オープニングデイ 講師：佐野有美氏 テーマ「あきらめないで夢をもって強く生きる」 対象者：全校生徒、保護者、職員、地域の方</p> <p>〔第二部〕平成25年12月20日（金）午後 全校集会・成果発表</p> <p>(1) 生徒会の取組発表：シャボン魂（よいことみつけ）の活動等 (2) 国際ボランティア部の活動報告：福祉施設訪問、身近なボランティア活動等 (3) 各学年「総合的な学習の時間」取組発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生：障がいのある方との交流、施設訪問、もみじ体験、車いす体験等（写真右） ・2年生：わたしたちの身近な人権、職場体験報告 ・3年生：わたしたちの身近な人権、「スペシャリストから学ぶ」学習報告 <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に貢献する福祉活動を通して、自己の生き方を考え「取り組んできてよかった。これからも進んで取り組みたい」という意識が多くでてきた。 						

